

就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	あさぬま かずな	性別	生年月日・年齢
氏名	浅沼 一那	男	2005年1月22日
競技名／種別・種目	トライアスロン		21 歳
出身地	千葉県白井市		
現住所	東京都多摩市		
所属先	国土舘大学・東京ヴェルデトライアスロンチーム		
練習場所	国土舘大学・稲城市		



【選手プロフィール】

■学歴・職歴

年	月	学歴・職歴
2023	3	日本体育大学柏高等学校 卒業
2023	4	国土舘大学体育学部体育学科 入学
2027	3	国土舘大学体育学部体育学科 卒業見込み

■免許・資格

実用技能英語検定 3級取得

年	月	大会名	戦 績
2024	11	2024 Asia Triathlon Junior,U23 and Mixed Relay Championships Jubail Junior Men	3位
2026	2	2026 Asia Triathlon Cup and Southeast Asia Championships Putrajaya	8位
2026	3	2026 Asia Triathlon Junior & U23 Championships Hong Kong	個人3位、Mixed U23-Junior Relay優勝
2026	5	2026 Asia Triathlon Cup Osaka Castle	12位

年	月	大会名	戦 績
2024	7	日本U19トライアスロン選手権(2024/長良川)	優勝
2025	9	2025日本学生トライアスロン選手権観音寺大会	優勝
2025	9	第79回国民スポーツ大会	2位
2026	7	第5回日本U23スプリントトライアスロン選手権(2026/長良川)	優勝

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私の強みは、どんな課題でも前向きに受け止め、解決するまで諦めずに挑み続けられることです。私は現在、2032年ブリスベンオリンピックへの出場を目標に掲げ、この大きな目標に向けて日々課題に向き合いながら練習を積み重ねています。

トライアスロンは、スイム・バイク・ランの三種目を連続で行う、常に自分の身体と心と向き合う競技です。結果が思うように出ず、実力不足を痛感して競技を続ける意義に悩んだこともあります。しかしその度に、「なぜうまくいかないのか」を冷静に分析し、練習内容や生活習慣、そして思考の在り方まで見直してきました。こうした積み重ねにより、困難な状況でも感情に流されず、次に取るべき行動を考えて前に進む力が身についたと感じています。

また、競技生活で最も大切にしてきたのは、「誰のためにレースをするのか」という思いです。厳しい練習を乗り越えられるのは、家族、指導者、仲間、そして応援してくださる方々の支えがあってこそです。その方々への感謝を忘れず、結果だけでなく挑戦する姿を通して「応援してよかった」「もっと応援したい」と思ってもらえる選手でありたいと考えています。

入社後は、オリンピックという高い目標に挑み続ける中で培った『課題解決力』と『継続力』をビジネスの現場でも発揮します。競技と同様に責任感を持って業務に向き合い、組織の一員としてしっかり貢献したいと考えています。また、将来的にはトライアスロンの普及・発展にも携わりたいという思いがあります。競技者としての経験を生かし、現場のニーズに根差した革新的な商品や価値あるサービスを生み出すことで、競技界全体に新たな可能性をもたらしたいと考えています。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件

①職種・仕事内容	運動生理学やスポーツバイオメカニクスの知識を活かせる「運動指導やスポーツ用品の開発」に興味がありますが、どのような職種にも全力で取り組んで参ります。
②勤務地	関東
③勤務日数・時間帯	週1日～3日、半日勤務希望。大会や遠征の際にはご配慮いただけますと幸いです。